

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | |
|-----------|---|--|-------------|----|-----|---------|------|--|
| 管内 | 空知 | 学校名 | 滝川市立滝川第二小学校 | | | 校長名 | 高原直樹 | |
| 氏名 | 大山勝己 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 46歳 | 教職員経験年数 | 12年 | |
| 教育実践のタイトル | | 体育専科における体力向上の取組 | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、体育専科教員として、小学校体育科における授業改善や、子どもたちの運動に対する意欲の向上及び運動環境の整備などに尽力するとともに、体力向上に向けた取組を推進する中で、自身の成果を積極的に発信するなど、管内の体力向上に向けた創意工夫ある取組を展開している。</p> <p>特に、「子どもの体力ボトムアップ事業」において、児童生徒が自ら運動に親しむことを目的とした運動プログラムの実践研究を行うとともに、運動プログラム等を掲載した児童生徒向けリーフレットの活用を図るなどした取組は他の規範となっており、本道の体力向上の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、これまでの体育専科教員としての経験を生かして「新体力テストの測定・活用のポイント」動画を作成し、管内における新体力テストの実施や指導の改善に中核的な役割を果たすとともに、豊富な経験に基づいた小学校体育科における授業改善の成果を管内に発信するなど、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | |
| | 業績 | <p>平成29年度 子どもの体力ボトムアップ事業「運動大好きプログラム」実践発表</p> <p>平成29年度～令和4年度 「体育専科教員活用事業」体育専科教員</p> <p>令和元年度 「赤平市体育科実技講習会」講師</p> <p>令和3年度 空知管内教育実践表彰受賞</p> <p>YouTubeチャンネル「学んDeそらち」研修動画作成</p> <p>Pepper社会貢献プログラム「スポーツマンシップ教育」実施</p> <p>令和4年度 「体育専科教員公開授業」授業者</p> | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|------------|----|-----|---------|------|--|
| 管内 | 石狩 | 学校名 | 石狩市立花川南小学校 | | | 校長名 | 吉田篤弘 | |
| 氏名 | 深澤健太 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 40歳 | 教職員経験年数 | 18年 | |
| 教育実践のタイトル | | 地域における組織的な授業改善の取組と充実 | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、小学校教諭として、研究や研修等を通じて教師の指導力向上に尽力するとともに、令和2年度からは、授業改善推進チーム活用事業における推進教員として、地域における組織的な授業改善の取組の充実に尽力している。</p> <p>特に、校内で組織的に取り組むため、全教員で統一した学習過程に基づき、児童が主体的に学習に取り組むことができるようにするなど、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の取組や、対話や交流する場面において1人1台端末の効果的な活用を図った取組は自校や連携校の模範となっている。</p> <p>また、育成を目指す資質・能力を明確にした単元の指導計画の工夫や1単位時間の授業改善のポイントを分かりやすく示した好事例をまとめ、映像版実践資料の作成に中核的な役割を果たすとともに、全道に取組の成果を発信するなど、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | |
| | 業績 | <p>平成26年度 北広島市立大曲中学校区巡回指導担当教諭（理科）</p> <p>令和2年度～ 授業改善推進チーム活用事業推進教員</p> <p>令和4年度 石狩教育研究会課題部会安全健康部会部長</p> | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|--|--------------|----|-----|---------|--------|--|--|
| 管内 | 胆振 | 学校名 | 苫小牧市立苫小牧東小学校 | | | 校長名 | 柴田 知 巳 | | |
| 氏名 | 中澤 文彦 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 46歳 | 教職員経験年数 | 23年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 「指導と評価の一体化」による授業改善の取組 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>校内のミドルリーダーとして、授業中や放課後において、学級担任に適時助言するなど、学力向上に向けた授業改善の取組を推進している。</p> <p>特に、教員の授業力向上においては、「指導と評価の一体化による授業実践」を推進するため、算数科の単位時間において「記録に残す評価」を実施する場面を取り上げ、評価の具体と児童に対する手立てを紹介する映像版実践資料を作成し、取組の成果を普及することで教員の指導力向上を図り、児童の学力向上に大きな成果を上げている。</p> <p>また、苫小牧市教育研究所授業改善研究委員会の一員として、研修講座の講師を務めるほか、指導計画のポイントや科目別の指導計画作成例を具体的に紹介した「苫小牧っ子学力UPハンドブック」を作成し、全教員に配布するなど、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善の推進に貢献しており、本道の教員の授業力向上に大きな成果を上げている。</p> | | | | | | | | |
| | 業績 | <p>平成28年度～29年度 苫小牧市教育研究所授業改善研究委員会 授業改善推進教員</p> <p>令和元年度 北海道立研究所授業改善推進研修「学校全体で行う授業改善の進め方」 講師</p> <p>令和元年度～2年度 苫小牧市教育研究所授業改善研究委員会 授業改善スーパーバイザー</p> <p>令和元年度～3年度 授業改善推進チーム活用事業 授業改善推進教員</p> <p>令和3年度 苫小牧市教育研究所授業改善研究委員会 委員長</p> <p>胆振管内教育実践表彰受賞</p> | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|--|-----------|----|-----|---------|------|--|--|
| 管内 | 檜山 | 学校名 | 奥尻町立青苗小学校 | | | 校長名 | 工藤 崇 | | |
| 氏名 | 松原 知未 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 38歳 | 教職員経験年数 | 13年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 校内研究を活用した授業改善の推進 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、深い愛情をもって児童理解に努め、意図的・計画的できめ細かな学級経営を進めている。児童一人一人の良さや可能性を引き出すとともに、安心感を持たせる学習指導や生徒指導を通じて、児童や保護者から高い信頼を得ている。学習指導において、国語、算数、道徳などの指導計画や指導方法の改善・充実に取り組み、研究会などでその成果を発表している。</p> <p>令和3年度には、北海道道徳教育推進会議に参加し、会議で得ることができた道徳科における授業改善の在り方等の情報や成果を踏まえた授業公開を行い、道徳教育の充実に向けその普及を図るなど、本道の道徳教育の振興と充実に大きく寄与している。</p> <p>また、令和4年度においては、研究部員として若手教員の研究部長を支えながら、全教員の実践意欲の向上や自校における各教科等の授業改善に積極的に取り組むとともに、指導計画や指導方法の改善・充実に努めており、特設授業の公開を通じて、自校の教育活動の発展・充実の一翼を担っている。</p> | | | | | | | | |
| | 業績 | <p>平成29年度 江差町立江差小学校公開研究会(授業公開・研究発表：算数)</p> <p>平成30年度 北海道道徳教育推進校事業公開研究会(研究発表：道徳)</p> <p>令和元年度 北海道道徳教育推進校事業公開研究会(研究発表：道徳)</p> <p>令和3年度 江差町立江差小学校公開研究会(研究発表：国語)</p> <p>檜山管内教育実践表彰受賞</p> | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|--|---------------------|-----------|----|-----|---------|------|--|--|
| 管内 | 上川 | 学校名 | 東川町立東川小学校 | | | 校長名 | 南部和紀 | | |
| 氏名 | 木村智美 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 53歳 | 教職員経験年数 | 31年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 新教科創設における教育課程の研究と実践 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、小、中学校教諭として実践研究、授業改善に尽力するとともに、ミドルリーダーや若手教員の育成を行うなど、教員の指導力向上にも力を発揮し、豊富な経験に基づく教育実践を展開している。</p> <p>特に、平成29年度から5年にわたり、文部科学省研究開発学校の取組において、新教科「Globe」の創設及び指導研究ワーキンググループの中心的なメンバーとして、指導内容や指導方法、評価方法の研究や実践を行うなど、子どもたちのコミュニケーション能力の育成に向けて、本道教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、幼稚園、小学校、中学校及び高等学校における国際教育や英語教育を通じたコミュニケーション能力の育成における接続の在り方について、全国研究発表会で研究発表を行い、広く普及・啓発に努めるなど、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | | |
| 業績 | <p>平成26年度 上川教育研修センター 講師（校内研修、国語科指導）</p> <p>平成27年度 教職経験者研修（10年研修）講師（国際理解教育）</p> <p>平成29年度 文部科学省研究開発学校 新教科「Globe」ワーキンググループメンバー</p> <p>令和3年度 「Globe」ワーキンググループのチーフ 主幹校研究主任</p> <p>上川管内教育実践表彰受賞</p> | | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|--------------|-----------|----|-----|---------|------|--|--|
| 管内 | 宗谷 | 学校名 | 礼文町立礼文小学校 | | | 校長名 | 深澤 徹 | | |
| 氏名 | 八重樫 裕希 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 41歳 | 教職員経験年数 | 18年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 複式教育の指導充実の取組 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>児童の表現力の育成を図るため、国語科と算数科を中心とした組織的な授業改善を行うとともに、複式授業の効果的な指導について、校内研修を実施するなど、学校課題の解決の大きな役割を果たしてきた。</p> <p>複式学級の経験が浅い教員でも複式学級の授業ができる「複式スタンダード」を作成し、具体的な指導法を自ら授業を公開して説明するなど、複式授業の効果的な指導法について、中心的な役割を果たしている。</p> <p>「学習内容を活用する力」「資料から必要な情報を読み解く力」「資料を基に自分の考えを述べる力」を校内研修の柱として授業を通して研修を深めるとともに、NIE宗谷地区セミナーを開催し、研究部長として、研究概要及び公開授業の概要説明を行い、参加者と研究と実践について討議を深めた。セミナーにおいて参加者や助言者と意見交換を行い、全道に情報を発信するなど礼文町の教育の充実に大きく貢献している。</p> <p>また、宗谷管内における複式教育改善・充実の牽引役として学力保障に向けた検証改善サイクルの確立や学力保障のための組織的な取組に係る実践内容の発信など、宗谷管内の学力向上に努め、令和3年度には「宗谷管内教育実践表彰」を受賞している。</p> | | | | | | | | |
| 業績 | <p>平成26年度 町研究紀要「頓別複式スタンダード」寄稿</p> <p>平成30年度 宗谷管内教育研究大会礼文大会 授業者</p> <p>令和3年度 宗谷管内組織力強化会議 助言者</p> <p>礼文町教育研究大会（礼文小学校大会） 授業者</p> <p>宗谷管内教育実践表彰受賞</p> <p>令和4年度 NIE宗谷地区セミナー全道大会学校研究発表</p> | | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | |
|-----------|---|--|-----------|----|-----|---------|-------|--|
| 管内 | 宗谷 | 学校名 | 枝幸町立枝幸小学校 | | | 校長名 | 青山 天生 | |
| 氏名 | 柏谷 めぐみ | 職名 | 教諭 | 年齢 | 49歳 | 教職員経験年数 | 28年 | |
| 教育実践のタイトル | | 幼児教育・小学校教育の指導充実の取組 | | | | | | |
| 教育活動 | <p>生徒指導部長として、いじめに関わる校内研修の企画や生徒指導部通信による保護者啓発など、組織的な取組を推進してきた。</p> <p>「幼小連携・接続推進リーダー活用事業」に当たり、幼保小のアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの作成に携わるとともに、保育所・幼稚園との合同研修会を実施し、保育士・幼稚園教諭との交流を深め、町内の幼保小の連携を促進するなど、町内の継続的かつ計画的な幼小連携・接続のための教育課程整備に寄与した。</p> <p>また、幼保の就学時懇談会では、保護者に対して小学校入学に向けた進路相談や子育てアドバイスなどの講話を行い、町内の幼小接続の円滑化に貢献している。</p> <p>令和3年度には、宗谷管内の初任段階教員研修の講師を務め、生徒指導における組織的な対応など、具体例を交え説明を行った。協議では、参加者が抱える生徒指導上の悩みについて、児童と正面から向き合うことや、成長を信じて保護者と連携することなどの解決策を伝えるとともに、子どもの成長に携わることのできる教師の仕事のやりがい伝えることで、初任段階教員に夢と自信を与えるなど管内の人材育成に大きく貢献している。</p> | | | | | | | |
| | 業績 | <p>令和元年度～2年度 枝幸町幼保小連携・接続推進リーダー アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの編成・実施 就学時懇談会進学講話 講師</p> <p>令和3年度 初任段階教員研修 講師</p> | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|-----------|----|-----|---------|-------|--|
| 管内 | オホーツク | 学校名 | 湧別町立湧別小学校 | | | 校長名 | 秋山 康則 | |
| 氏名 | 西村 亮 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 36歳 | 教職員経験年数 | 12年 | |
| 教育実践のタイトル | | 学校力向上に向けた特別活動の取組 | | | | | | |
| 教育活動 | <p>平成26年度から令和元年度まで、学校力向上に関する総合実践事業実践指定校において、各教科等の授業改善や人材育成の中核的な役割を果たし、優れた実践活動を行った。</p> <p>令和2年度からは、自校において、児童の自尊感情を高め、自己実現を図る特別活動の実践を推進するとともに、その実践を積極的に発信するなど優れた実践力と行動力を発揮し、自校の学校力向上に貢献するとともに、オホーツク管内特別活動研究会の会員として、歴任学校における特別活動の充実に努め、その実践の内容や方法、成果などを広く管内へ発信するとともに、若手教員へ指導助言を行うなど、管内教育の充実・発展にも大きく貢献している。</p> <p>また、特別活動に係る教育雑誌や教育書籍の原稿執筆をはじめ、初等教育資料の座談会に参加し、自身や自校の実践を全国へ発信するなど、オホーツク管内教育の発展に大きく寄与している。</p> | | | | | | | |
| | 業績 | <p>令和元年度 特別活動指導資料「みんなで、よりよい学級・学校をつくる特別活動（小学校編）」（文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター）実践掲載</p> <p>令和2年度 オホーツク管内教師力向上セミナー「学校再開後の教育活動の充実」 講師</p> <p>令和3年度 「初等教育資料」特集Ⅱ「特別活動」座談会に参加・掲載 教育雑誌「道徳と特別活動」（文溪堂）実践掲載</p> <p>令和4年度 雄武町立雄武小学校校内研修 講師 オホーツク管内特別活動研究会夏季実践発表会 実践発表 教育書籍「個別最適な学び・協働的な学びを実現する『学びの文脈』」（明治図書） 執筆協力者</p> | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|-----------|----|-----|---------|--------|--|
| 管内 | 十勝 | 学校名 | 音更町立柳町小学校 | | | 校長名 | 稲葉 珠 樹 | |
| ふりがな氏名 | 大井 弘幸 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 51歳 | 教職員経験年数 | 25年 | |
| 教育実践のタイトル | | 授業改善推進チームとしての学力向上に係る取組の推進 | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、小学校教諭として授業改善に取り組み、学力向上の課題を焦点化し、全教職員の共通理解を図るとともに、育成すべき資質・能力を明確化し、系統立てた学習指導を展開している。</p> <p>また、ICTを活用した教育活動において、リモート授業をはじめとした学習サポート体制を整備し、教育課程の編成・実施のための先駆的な実践をするなど、本道の教育の振興及び充実に大きな成果を上げている。</p> <p>さらに、「授業改善推進教員」として、授業改善や学力向上などにおける課題解決に向けた組織的な取組の中核的な役割を果たすとともに、教育課程の編成・実施及び生徒指導の課題において、定期的に通信を発行し、単元で身に付けさせる力を明確にすることの重要性を説明したり、国語科や算数科を中心とした教材を紹介するなど、授業改善に係る情報共有と連携を基に的確な助言を行い、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | |
| 業績 | 平成10年度～14年度 平成16年度 | 北海道社会科研究会大会実践発表 豊頃町学校教育実践発表会授業公開・全体研究会発表 研究実践指定校実践報告 | | | | | | |
| | 平成17年度 平成19年度 平成22年度 平成23年度 平成25年度 令和2年度～4年度 | 教育課程実践研究成果報告 幕別町学校教育実践発表会授業公開 十勝教育研究「小学校外国語活動について」実践報告 幕別町立白人小学校公開研授業者・全体研究会発表 音更町学校教育実践発表会授業公開 授業改善推進教員 *学力向上推進事業授業改善推進チーム | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|-----------|----|-----|---------|-------|--|
| 管内 | 釧路 | 学校名 | 鶴居村立鶴居小学校 | | | 校長名 | 田中 敏行 | |
| ふりがな氏名 | の だ てつ ふみ 野 田 哲 史 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 46歳 | 教職員経験年数 | 24年 | |
| 教育実践のタイトル | | 算数科教育の指導充実に係る取組 | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、小学校教諭として、教科指導に取り組み、確かな学力の定着に向けた授業改善の取組の充実に尽力するとともに、1人1台端末を効果的に活用した授業づくりの推進に向けた創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、算数科教育において、身に付けさせたい資質・能力を明確にし、数学的な見方・考え方を育成する問題解決的な授業づくりの充実に図った取組は他の模範となっており、本道の算数科教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、鶴居村教育研究所の算数・数学会において、部会部長として村内の算数科教育の指導の充実に中核的な役割を果たすとともに、教育局主催の「算数・数学指導力向上研修会」で発表者を務め、これまでの実践を村内だけではなく管内にも広げるなど、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | |
| 業績 | 平成26年度 平成29年度 平成30年度 令和3年度 令和3年度・4年度 | 北海道教育大学「算数科はじめての問題解決の授業ハンドブック」 掲載 明治図書「算数科問題解決の授業ガイドブック」 掲載 弟子屈町立奥春別小学校公開研究会 授業者 北海道教育庁釧路教育局「算数・数学指導力向上研修会」 発表者 鶴居村立鶴居小学校公開研究会 授業者 | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | |
|-----------|--|------------------|------------|----|-----|---------|------|--|
| 管内 | 石狩 | 学校名 | 江別市立大麻東中学校 | | | 校長名 | 佐藤 貢 | |
| 氏名 | 加藤 孝章 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 41歳 | 教職員経験年数 | 15年 | |
| 教育実践のタイトル | | 外国語科教育の指導充実に係る取組 | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、中学校外国語科担当教諭として外国語教育において卓越した専門性と指導力を発揮し、学習指導の充実に尽力するとともに、江別市内の小・中・高等学校英語教育支援事業の推進校担当教諭として、指導方法の改善などに取り組み、公開授業の実施や小・中学校9年間の系統性を踏まえたCAN-DOリストの作成、授業動画の作成等を行い、管内の外国語教育の発展・充実に寄与している。</p> <p>特に、日常的に豊かな言語活動を保障する授業づくりに取り組み、自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動を充実させることで生徒の主体的な学びを実現させ、資質・能力の育成を図っており、その実践は高く評価されている。</p> <p>また、学年主任を務め、生活指導と学習指導の充実により確実な学力向上を実現させるとともに、学校として目指す子ども像の実現を図り、中核的な役割を果たしている。</p> | | | | | | | |
| 業績 | <p>平成27年度 石狩市教職員研修ウィンターセミナー 提言者</p> <p>平成29年度 札幌市中学校英語教育研究会「Summer Work Shop」 講師</p> <p>令和元年度 中学校・高等学校の外国語教育に求められる実践的指導力向上研修～五つの領域を統合する指導の進め方～（北海道立教育研究所） 講師</p> <p>石狩管内教育研究会英語部会 事務局長</p> <p>令和2年度 小・中・高等学校英語教育支援事業推進校担当教諭</p> <p>令和3年度 小・中・高等学校英語教育支援事業推進校担当教諭</p> <p>石狩管内教育研究会学校課題研究発表会 授業者</p> | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | |
|-----------|---|------------------|------------|----|-----|---------|-------|--|
| 管内 | 後志 | 学校名 | 小樽市立潮見台中学校 | | | 校長名 | 高橋 恒雄 | |
| 氏名 | 清水 馨 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 36歳 | 教職員経験年数 | 12年 | |
| 教育実践のタイトル | | 教科指導及び道徳教育の充実の取組 | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、中学校教諭として、学級経営力や教科指導力の向上に取り組み、教科指導や道徳教育の充実に尽力するとともに、教務主任として検証改善サイクルの確立に向けた取組を推進する中で、校務分掌を組織的に結ぶ際の要としての役割を果たし、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、道徳科の授業づくりにおいて、Jamboardを活用して生徒の考えを見える化したり、友達の考えを聞く中で付箋を移動させるなどしながら話し合い活動を行い、生徒が考えを広げ、深めるための工夫をするなど、ICTを効果的に活用した取組は他の模範となっており、本道の道徳教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、北海道道徳教育推進会議において授業者を務め、その成果が道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業成果普及資料に掲載されるほか、北海道道徳研究大会において豊富な経験に基づいた研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | |
| 業績 | <p>令和3年度 北海道道徳教育推進会議 授業者</p> <p>道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業成果普及資料 実践掲載</p> <p>後志管内教育実践表彰受賞</p> <p>令和3年度・4年度 後志教育研修センター音楽科研修講座 講師</p> <p>令和4年度 第57回北海道道徳研究大会分科会 提言者</p> <p>初任段階教員研修2年次研修 授業者</p> <p>小樽市教育委員会主催「道徳教育研修講座」 授業者</p> <p>小樽市小中学校学力向上検討委員会（国語）委員</p> | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|--|-------------|----|-----|---------|-------|--|--|
| 管内 | オホーツク | 学校名 | 小清水町立小清水中学校 | | | 校長名 | 岸 澄美子 | | |
| 氏名 | 山下 孔基 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 39歳 | 教職員経験年数 | 15年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 特別支援教育の指導充実の取組 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、特別支援学級担任として、ICT機器を活用した自立活動に力を入れ、共有機能を活用することで、生徒が意見を表明しやすい環境づくりや、自己評価を数値化し全体で共有できる仕組みを整えるなどの教育実践を重ねてきた。特別支援教育コーディネーターとして、特別支援学級生徒だけではなく、困り感のある通常学級生徒に対しての教育相談にも力を入れ、小学校や町の福祉課と連携して、適切な就学に関わる相談体制を構築するとともに、校内支援委員会の組織的な運営に努めた。</p> <p>また、令和3年度には、オホーツク管内特別支援教育リーダー教員を務め、初任段階教員や大学生に対して授業公開を行うとともに、オホーツク管内版「個別的教育支援計画ファーストステップ」の作成に関わるなど、オホーツク管内の特別支援教育の充実に貢献している。</p> | | | | | | | | |
| 業績 | 平成30年度 平成30年度～令和2年度 令和元年度 令和3年度 令和4年度 | <p>オホーツク地区特別支援教育研究大会遠軽大会分科会「保護者との連携」 提言者</p> <p>小清水町特別支援教育連携協議会委員</p> <p>小清水町教育支援委員会委員</p> <p>小清水中学校授業実践公開 特別支援学級自立活動「自己理解と他者理解」 授業者</p> <p>オホーツク管内特別支援教育リーダー教員</p> <p>特別支援教育総合推進事業「経験の浅い教員の専門性向上に係る支援体制等構築研究事業」授業公開 授業者</p> <p>特別支援教育充実セミナー「校内における支援体制の充実」 発表者</p> <p>特別支援教育FSPオンライン授業改善セミナー（オホーツク教育局）公開授業 授業者</p> <p>北海道特別支援教育センター教育相談実践研修講座「教育相談担当者における業務の実際」 講師</p> <p>オホーツク管内版「個別的教育支援計画ファーストステップ」 作成員</p> <p>斜里町学校教育振興会公開研究会 助言者</p> | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|---|-------------|----|-----|---------|-------|--|--|
| 管内 | 十勝 | 学校名 | 帯広市立帯広第二中学校 | | | 校長名 | 藤崎 禎人 | | |
| 氏名 | 吉能 康大 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 38歳 | 教職員経験年数 | 16年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 豊かな心と確かな学力を育む教育実践 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組み、児童の資質・能力の育成に尽力するとともに、学力向上、道徳科の授業の充実を図るなど、豊かな心と確かな学力を育む教育活動を展開している。</p> <p>特に、数学及び技術科の授業において、「主体的・対話的で深い学び」の充実を生徒の視点から捉え直し生徒一人一人の思考に沿った学びの過程を重視し、探究的学びを深める授業を実践している。また、校内研究を通して「主体的・対話的で深い学び」の充実を目指した授業づくりを教職員に広め、意識高揚に努めるなど校内における授業力向上に貢献している。</p> <p>また、令和4年度「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」において授業を公開し、生徒理解に基づく指導観から、生徒が道徳的価値について「考え、議論する」ための教材や発問の工夫を行った道徳科の授業を実践し、本道における道徳科の授業の充実に大きく貢献している。</p> | | | | | | | | |
| 業績 | 平成24年度 平成26年度 平成28年度 平成29年度 令和3年度 令和4年度 | <p>十勝教育研修センター講座 講師（中学校技術科）</p> <p>十勝地区小・中学校放送教育研究大会 授業者</p> <p>清水町教育研究大会 授業者</p> <p>十勝管内キャリア教育・進路指導研究大会 授業者</p> <p>十勝教育研修センター講座 講師（中学校技術科）</p> <p>道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業 実践発表</p> | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|--|-----------------|-----------|----|-----|---------|------|--|--|
| 管内 | 十勝 | 学校名 | 幕別町立忠類中学校 | | | 校長名 | 白井将之 | | |
| 氏名 | 澤 辺 渉 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 38歳 | 教職員経験年数 | 14年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 授業改善と体力向上に向けた取組 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、小学校教諭・中学校教諭を経験しながら、体育科・保健体育科の授業改善に携わり、児童生徒の生涯にわたって運動に親しむことができるよう、授業改善や体力向上に係る組織的な取組など、創意工夫ある教育活動を展開している。平成25年度からは体育専科教員として近隣校への乗り入れ授業や指導助言を行い、授業改善の取組を推進してきた。</p> <p>現在、中学校授業実践スペシャリストとして、生徒が運動の楽しさを味わい、運動を豊かに実践することを目指した授業実践を行うとともに、公開授業及び講義を行い、管内の保健体育科教員の教育力向上に大きく貢献している。</p> <p>また、令和4年度には体力向上推進委員として、町内小・中学校の系統性や発達段階を踏まえた体力向上に向けた包括的な取組を行っている町内小学校への乗り入れ授業を実施するとともに、管内の教職員に向けて、9年間を見通した体育科・保健体育科授業の教育課程編成の重要性や、外部機関との連携を図った体力向上に係る授業改善について説明するなど、管内の児童生徒の体力向上に大きく貢献している。</p> | | | | | | | | |
| 業績 | <p>平成25年度～27年度 小学校体育専科教員</p> <p>平成26年度 小学校体育実技講習会 講師</p> <p>令和4年度 中学校授業実践スペシャリスト及び中学校体力向上推進委員</p> <p>中学校授業実践セミナー 講師及び授業者</p> <p>十勝教育局主催 体力向上に係る十勝管内の課題改善に向けた研修会 講師</p> | | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|--|-----------------------|-----------|----|-----|---------|------|--|--|
| 管内 | 十勝 | 学校名 | 帯広市立川西中学校 | | | 校長名 | 今野典之 | | |
| 氏名 | の 野 上 奈美子 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 51歳 | 教職員経験年数 | 31年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 校内研究を通じた授業改善と家庭科教育の充実 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、中学校教諭として、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、校内研究を中心とした組織的な授業改善を提案・推進するとともに、家庭科教育の充実に力を注ぎ、日常生活に生きる資質・能力を育む教育活動を展開している。</p> <p>特に、研修部長として校内研修を牽引し、授業における明確なねらい及び学習課題の設定や、課題解決に向けた交流場面の工夫、生徒による学習のまとめや自身の学習を文字言語によって振り返る活動の位置付け等、全教職員が視点を揃えて組織的な授業改善を図るとともに、川西中学校公開研究会を開催し、取組を広く発信することで、管内の教育の充実に大きく貢献した。</p> <p>また、より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する家庭科教育を実践し、豊富な経験を基に研究成果の提言や授業実践を発信するなど、十勝の家庭科教育推進の中核的な役割を果たすとともに、令和4年度北海道地区技術家庭科研究大会十勝大会事務局次長を務め、「社会に『生きる』技術・家庭科教育～主体的に生活を創造する生徒の育成～」をテーマに掲げた研究推進並びに大会運営に携わり、研究大会成功に大きく貢献した。</p> | | | | | | | | |
| 業績 | <p>平成27年度～29年度 帯広市立帯広第四中学校 研修部長（公開研究会担当）</p> <p>令和2年度～4年度 帯広市立川西中学校 研修部長</p> <p>令和4年度 帯広市立川西中学校公開研究会担当</p> <p>北海道地区技術・家庭科教育研究大会十勝大会 事務局次長</p> | | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|--|--|-----------|----|-----|---------|-------|--|--|
| 管内 | 釧路 | 学校名 | 釧路市立幣舞中学校 | | | 校長名 | 本川 敬一 | | |
| 氏名 | 柴田 敬祥 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 53歳 | 教職員経験年数 | 25年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 理科教育の指導充実の取組 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、中学校教諭として、確かな学力の定着に向けた授業改善に取り組み、校内研修や学力向上の取組の充実に尽力するとともに、キャリア教育に係る取組を推進する中で、特色あるカリキュラム開発など創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、理科教育において、見通しを持って観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するなど、科学的に探究する過程の充実に図った授業改善の取組は他の模範となっており、本道の理科教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、「釧路市授業マイスター」として理科教育に関する指導の充実に中核的な役割を果たすとともに、豊富な経験に基づいた授業の公開や釧路市教育委員会の授業交流サイトで授業動画を配信するなど、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | | |
| | 平成24年度 | 苫小牧市教育実践資料 執筆 | | | | | | | |
| | 平成27年度 | 日本化学会北海道地区化学教育研究協議会 提言 | | | | | | | |
| | 平成28年度 令和4年度 | 北海道立教育研究所附属理科教育センター研究紀要 執筆 釧路市学力向上委員、釧路市授業マイスター | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|--|--|-----------|----|-----|---------|-------|--|--|
| 管内 | 空知 | 学校名 | 北海道夕張高等学校 | | | 校長名 | 濱村 隆康 | | |
| 氏名 | 若藤 妃加莉 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 38歳 | 教職員経験年数 | 13年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 遠隔授業における個別最適な学びの推進及び組織的な学力向上の指導充実の取組 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、数学科教諭として、「個に応じた指導」の充実に取り組むとともに、教務部長として、ICT活用の推進や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を組織的に推進するため、校内体制の構築・強化に取り組んでいる。</p> <p>特に、文部科学省研究開発学校の主担当として、遠隔授業における個別最適な学びの推進に向けた指導方法等の研究に尽力するとともに、研究開発学校フォーラムにおいて北海道代表として3年間の研究の成果を発表し、本道教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、北海道教育委員会による研究指定を推進するSCRUM委員会の一員として、「単元配列表」の作成に中核的な役割を果たすとともに、公立高等学校学校運営研修会において提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | | |
| | 平成29年度～令和3年度 | 文部科学省「研究開発学校」研究指定校 主担当 | | | | | | | |
| | 平成30年度～令和元年度 | 北海道教育委員会「北海道高等学校『教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの学習・指導方法の改善の推進のための実践研究（SCRUM）』SCRUM委員会委員 | | | | | | | |
| | 令和元年度・令和2年度 令和3年度 | 公立高等学校学校運営研修会 提言者 第17回研究開発学校フォーラム研究 発表者 | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|--------------------------------|-------------|----|-----|---------|------|--|--|
| 管内 | 石狩 | 学校名 | 北海道札幌東陵高等学校 | | | 校長名 | 山本英人 | | |
| 氏名 | 土居早苗 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 45歳 | 教職員経験年数 | 22年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 英語コミュニケーション能力・論理的思考力の育成を目指した取組 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、英語科の教員として、生徒の英語力を育成するために、ALTとともに指導案を作成するなどして、コミュニケーション能力や思考力・判断力を育成する創意工夫ある授業を実践するとともに、生徒に英語の4技能をバランスよく習得させることで、更なる学習意欲の向上に取り組み、自身の取組を校内外で積極的に研究発表するなど、その成果の普及に努めている。</p> <p>現在は、表現力を身に付ける授業研究に加え、ICT端末を活用した授業開発の研究を重ねている。</p> <p>特に、ICTを活用した英作文指導を行い、生徒一人一人の特性に応じた指導で生徒の表現力を育成するとともに、生徒の海外への興味関心を高める工夫などに大きな成果を上げている。</p> <p>また、身の回りの事柄などの様々なテーマを設定し、生徒同士で意見交流しながら、自己の考えを深める言語活動を展開した授業実践を行うなど、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | | |
| 業績 | <p>平成19年度 「北海道学力向上推進事業（高等学校学力アッププロジェクト）Englishプロジェクト」 実践発表</p> <p>平成20年度 「中学校・高等学校英語教員指導者養成研修（アルバータ州立大学）」 研究派遣</p> <p>平成21年度 「外国語指導助手中間期研修会」 実践発表</p> <p>平成24年度 文部科学省「英語力育成の取組」研究指定校・研究発表</p> <p>平成24年度～25年度 「北海道高等学校学力向上推進事業（授業実践セミナー）」 講師</p> <p>平成27年度～28年度 「北海道スーパーイングリッシュキャンプ」 運営者</p> | | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|--------------------------|--------------|----|-----|---------|-----|--|--|
| 管内 | 後志 | 学校名 | 北海道倶知安農業高等学校 | | | 校長名 | 近江勉 | | |
| 氏名 | 鈴木貴史 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 39歳 | 教職員経験年数 | 10年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 生徒指導をはじめとする教育活動の充実に向けた取組 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、高校教諭として、担任業務や教科指導に取り組み、現在は倶知安農業高校の生徒指導部長として学校運営の中核的な役割を果たすとともに、初任段階教員研修（4年次）講師として学級経営や教科で直面した困難やその解決方法を分かりやすく伝えるなど、学校内外において管内の教育活動の充実に尽力している。</p> <p>特に、集団カウンセリングや自殺防止教育プログラムを活用した取組に力を入れ、令和2年度「高校生ステップアップ・プログラム」においては、主担当として事業を実施し、生徒に命の大切さや苦しいときに一人で抱え込まないということへの理解を深めさせるなど、その取組は他の模範となっており、本道並びに管内の自殺予防教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、令和3年度授業改善セミナー（保健体育）講師として「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業の在り方について実践発表を行うなど、管内全体の教育に大きく貢献し、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | | |
| 業績 | <p>令和3年度 「高校生ステップアップ・プログラム」 主担当 道教委主催「授業改善セミナー（保健体育）」 講師 後志教育局主催「ネットパトロール講習会」 講師 後志管内教育実践表彰受賞</p> <p>令和4年度 高校生学校安全推進事業 主担当 「高校生ステップアップ・プログラム」 主担当</p> | | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | |
|-----------|--|---|---------------------------------|----|-----|---------|-------|--|
| 管内 | 後志 | 学校名 | 北海道倶知安高等学校 | | | 校長名 | 谷川 敬一 | |
| 氏名 | 土生 紘太郎 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 33歳 | 教職員経験年数 | 10年 | |
| 教育実践のタイトル | | 授業改善及び評価と指導の一体化に向けた取組 | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、英語教諭として、地域の特性を理解し、生徒の英語コミュニケーション能力の向上を図るため、積極的な授業改善に取り組み、国際理解教育を推進する中で、授業はもとよりクラブ活動等を通して、創意工夫ある教育活動を展開してきた。</p> <p>特に、教科指導においては、アクティブラーニングによる主体的な英語コミュニケーション能力（スピーキング能力）の育成、ICTの積極的な活用、地域の小中高連携事業への協力等、本道並びに管内英語教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>令和元年度には、G20観光大臣会合における高校生交流事業（提言）担当者として、力量を発揮し、また、令和3年度には国立教育政策研究所指定「教育課程実践検証協力校」事業において「指導と評価の一体化」に関する研究を推進し、中核的な役割を果たすとともに、北海道高等学校英語研究セミナー講師として、これまでの取組の成果を発表するなど、英語教育の振興と充実に大きく貢献し、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | |
| | 業績 | 令和元年度 | G20 サミット高校生交流事業提言 E S S 発表者指導担当 | | | | | |
| | 令和3年度 | 国立教育政策研究所教育課程実践検証協力事業 評価と指導の一体化（外国語・英語） 授業者 | | | | | | |
| | | 北海道高等学校英語研究会（高英研）「講座 生徒への動機づけでふだん意識していること → ZOOM でやってみる」 講師委員 | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | |
|-----------|--|--|----------------------------------|----|-----|---------|-------|--|
| 管内 | 日高 | 学校名 | 北海道浦河高等学校 | | | 校長名 | 齊藤 雄大 | |
| 氏名 | 舟田 彩一郎 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 39歳 | 教職員経験年数 | 14年 | |
| 教育実践のタイトル | | 保健体育教育の指導充実の取組 | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり高等学校教諭として、保健体育教育において卓越した専門性と指導力を発揮し、生徒の興味・関心を高め、生徒が主体的に学び、資質・能力を育む授業の実践に取り組むとともに、本校の授業改善に力を尽くしている。</p> <p>特に、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践や、本校で作成している単元配列表を活用した保健体育科の各科目における単元の指導計画を作成し、観点別学習状況の評価の実施に先進的に取り組むなど、指導と評価の一体化の実現に向けた教育実践に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、各種研究協議会等において実践発表を行いその成果を広く普及するとともに、令和3年度に北海道高等学校「未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業」における教科指導講座スペシャリストを務めるなど、本道における保健体育教育の充実・発展に大きく貢献した教育実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | |
| | 業績 | 令和元年度 | 和歌山県データ利活用コンペティション対象、和歌山県統計協会賞受賞 | | | | | |
| | 令和3年度 | 「VIEW next 8月号」（（株）ベネッセコーポレーション発行） 寄稿 | | | | | | |
| | | テーマ「自分で立てた問題解決のための仮説を、対話を通して検証し、自分に合った走法を見いだす」 | | | | | | |
| | | 北海道高等学校「未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業」教科指導 講座スペシャリスト | | | | | | |
| | | 第59回北海道高等学校教育研究会保健体育部会 実践発表 | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|------------|----------|----|-----|---------|------|--|--|
| 管内 | 渡島 | 学校名 | 市立函館高等学校 | | | 校長名 | 花松 均 | | |
| 氏名 | 磯波理恵 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 42歳 | 教職員経験年数 | 19年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 書道教育の充実と発展 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、中学校の国語科担当教員として、高い専門性と優れた実践力を発揮し、函館市内中学校の国語教育の充実・発展に尽力するとともに、指導と評価の一体化に積極的に取り組むなど、学習評価の充実・改善に努めている。このほか、函館市書写教育研究会などにおいて中核的な役割を果たし、本市書道教育に寄与している。</p> <p>また、自ら書道の研鑽を積み、数々の書道展で受賞しているほか、毎日書道展審査会員や北海道書道展審査会員に推挙されるなど、数多の作品審査に携わり、書道教育の牽引役として書道の普及・奨励に貢献してきた。自らを磨き学び続ける姿は、生徒の良き模範となっている。</p> <p>現任校では、教科「芸術（書道）」を担当するとともに、部活動の顧問として生徒への技術指導に尽力し、令和3年度の第55回全道高等学校書道展・研究大会では、生徒の展覧作品が高文連連盟賞および優秀賞を受賞するなど、校内外においてその指導力が高く評価されている。</p> | | | | | | | | |
| 業績 | <p>平成30年度 第73回北海道国語教育研究大会函館大会 研究授業</p> <p>令和元年度 第71回毎日書道展近代詩文書部門会員賞受賞 函館市立学校教職員表彰受賞</p> <p>令和2年度 第61回北海道書道展準大賞受賞 渡島管内教育実践表彰受賞</p> <p>令和4年度 第2回中野北溟記念北の書みらい賞大賞受賞</p> | | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|-------------------------|------------|----|-----|---------|------|--|--|
| 管内 | 上川 | 学校名 | 北海道旭川東高等学校 | | | 校長名 | 三条 歩 | | |
| 氏名 | 佐藤俊行 | 職名 | 主幹教諭 | 年齢 | 42歳 | 教職員経験年数 | 19年 | | |
| 教育実践のタイトル | | ICTを活用した教育活動の推進と校内体制の整備 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>授業におけるICT活用の先駆者として、オンラインによる教材提供と遠隔の講習を開始し、YouTubeを活用した授業動画の配信を開始した。令和3年度には、全ての教職員がYouTubeを活用した授業動画の配信ができるよう推進チームを編成するとともに、校内研修を実施し、分散登校時のハイブリッド型授業の実現に尽力した。これらの取組を全道に発信したことなどにより、全道のICT教育の振興と充実に大きな成果を上げた。</p> <p>また、令和2年度から、総務部長として校務のICT化に取り組み、全ての教職員が、タブレットを活用して参加する諸会議の実施を実現するなど、ペーパーレス化と業務の効率化を図ることができた。</p> <p>さらに、令和2年度から、学校ホームページの刷新、Twitterでの情報提供、オンラインによる中学生向け学校説明会の開催を行い、令和3年度には、Zoomを活用した双方向によるハイブリッド型授業の実践やYouTubeを活用した授業動画配信を行ったほか、学校概要説明、部活動紹介、授業紹介の3部に分けた画期的な説明会を実施した。</p> | | | | | | | | |
| 業績 | <p>令和4年度～ 文部科学省「新型コロナウイルス感染症によりやむを得ず学校に登校できない児童生徒の学習保障についての事例集」実践事例 掲載</p> | | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----------------------|-----------|----|-----|---------|------|--|
| 管内 | 根室 | 学校名 | 北海道標津高等学校 | | | 校長名 | 渡辺幹夫 | |
| 氏名 | 中村公一 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 43歳 | 教職員経験年数 | 20年 | |
| 教育実践のタイトル | | 学校教育の振興と防災教育における優れた実践 | | | | | | |
| 教育活動 | <p>高等学校の外国語科（英語科）教諭として、学習指導要領への深い理解と授業改善に対する熱意ある研究により、教育活動の充実・発展に資する取組を行うとともに、若手・後輩教員等に対して、積極的な指導・助言を行い本校の組織力向上に寄与するなど、ミドルリーダーとして高い信頼を得ている。校務分掌では生徒指導部長や生徒会指導担当などを歴任し、「特別活動を通じた教育活動の充実」を目的として積極的に学校と地域との連携に取り組み、地域に根差した生徒会活動を実践している。</p> <p>特に、防災教育においては「標津町版オリジナルHUG」製作の中心的役割を担い、完成後には、標津町内の子ども園、小学校及び中学校において、「標津町版オリジナルHUG」を活用した高校生による出前授業を実施することにより「地域循環型防災教育」の礎を築くとともに、標津町との連携により本校生徒が東北地方等の被災地域を研修しその研修成果を発信させる取組を実現させるなど、その功績は高く評価されている。</p> | | | | | | | |
| 業績 | <p>令和2年度 防災教育チャレンジプラン（主催：内閣府等）防災教育優秀賞受賞 第24回ボランティアスピリットアワード コミュニティ賞受賞</p> <p>令和3年度 防災未来賞「ぼうさい甲子園」（主催：毎日新聞社等）フロンティア賞受賞 第26回防災まちづくり大賞（主催：消防庁等）消防庁長官賞受賞 根室管内教育実践表彰受賞</p> | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----------------|--------------|----|-----|---------|------|--|
| 管内 | 根室 | 学校名 | 北海道中標津農業高等学校 | | | 校長名 | 渡辺晃史 | |
| 氏名 | 佐藤正二 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 33歳 | 教職員経験年数 | 10年 | |
| 教育実践のタイトル | | 農業教育の指導充実に関する取組 | | | | | | |
| 教育活動 | <p>高等学校の農業科教諭として、畜産の専門知識・技能を活用した教科指導の充実に努めるとともに、地域と連携した教育を実践し、地域の産業を担う人材の育成に大きく貢献している。</p> <p>特に、農業クラブの指導の一環であるエゾシカの有効活用に関する取組において、外部団体・企業・大学等の関係機関との連携や各種コンテストへの応募等に積極的に取り組むとともに、取組の成果を報道等で広く発信するなど、農業教育の向上・振興に大きく貢献している。</p> <p>また、生徒たちの主体的かつ協働的に取り組む学習活動を通して、思考力・判断力・創造力・表現力・言語力・分析力・コミュニケーション力など、職業人として必要な資質・能力を育成するなど、農業教育に関する指導の充実に中核的な役割を果たし、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | |
| 業績 | <p>平成28年度 日本学校農業クラブ北海道連盟全道実績発表大会 プロジェクト発表分野Ⅱ類 優秀賞受賞</p> <p>令和2年度 2020年度SDGsQuestみらい甲子園北海道エリア大会 北邦学園賞受賞</p> <p>令和3年度 2021年度日本経済大学 全国高校生ビジネスアイデアコンテスト 敢闘賞受賞 第4回持続可能な世界・北海道高校生コンテスト 総合探求部門 優秀賞受賞 日本学校農業クラブ北海道連盟全道実績発表大会 プロジェクト発表分野Ⅱ類 優秀賞受賞 第27回コカ・コーラ環境教育賞 企画・研究推進部門 最優秀賞・環境大臣賞受賞</p> | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|--------------------------------|--------------|----|-----|---------|------|--|--|
| 管内 | 石狩 | 学校名 | 北海道新篠津高等養護学校 | | | 校長名 | 久富正規 | | |
| 氏名 | 八木郁朗 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 46歳 | 教職員経験年数 | 22年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 知的障がい教育におけるICTを活用した指導の充実に向けた取組 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、特別支援学校教諭として、生徒の個に応じた指導の充実を図るためにICTを効果的に活用した創意工夫のある授業実践を展開するとともに、校内のみならず全道の取組の充実の寄与するよう校内外の研修会等において効果的な実践や取組の発信を行っている。</p> <p>ICTに係る専門的な知識・技能を生かし、中核教員として全教職員のICT活用を推進するために、校内環境の整備や研修の充実に取り組むとともに、ICTを活用した生徒一人一人の障がい特性に応じたきめ細かな指導や、生徒の学習意欲の向上に向けた取組において大きな成果を上げている。</p> <p>また、道教委の特別支援教育ICT活用検討チーム委員や北海道特別支援教育センター主催の研修講座の講師、近隣校の校内研修会の講師を担うなど、道内のICT教育を普及推進する役割を担い、豊富な経験に基づいた提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | | |
| 業績 | <p>令和元年度 筑波大学附属学校公開研究会「P4分科会」 実践発表</p> <p>令和2年度 美深高等養護学校「校内研修会」 講師</p> <p>令和3年度 特別支援教育ICT活用検討チーム委員、北海道特別支援教育センター「自立活動研修講座」 講師、札幌伏見支援学校もなみ学園分校「校内研修会」 講師</p> <p>令和4年度 北海道特別支援学校肢体不自由教育校長会、北海道特別支援学校肢体不自由教育副校長・教頭会「北海道肢体不自由教育専門性向上セミナー」 講師、札幌高等養護学校「夏季研修会」 講師</p> | | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|----------------|-----------|----|-----|---------|-------|--|--|
| 管内 | 後志 | 学校名 | 北海道余市養護学校 | | | 校長名 | 辻山しのぶ | | |
| 氏名 | 奥野雅理 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 36歳 | 教職員経験年数 | 14年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 特別支援教育の指導充実の取組 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、特別支援学校教諭として、児童が主体的に学習を進める指導方法の研鑽に取り組み、知的障がいの専門性を生かした指導の充実と尽力するとともに、児童の実態に応じた支援を推進する中で、創意工夫ある教育活動を推進している。</p> <p>特に、人間関係の形成において、児童の相互理解を深めるよう努めるとともに、学習意欲の向上を図るなど、学級経営の活用を図った取組は他の模範となっており、本道の特別支援教育の振興と充実と大きな成果を上げている。</p> <p>また、学校、寄宿舎と連携を図った基本的な生活習慣の向上に関する指導の充実において中核的な役割を果たすとともに、豊富な経験に基づいた研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | | |
| 業績 | <p>令和4年度 第61回全日本特別支援教育研究連盟全国大会秋田大会、2分科会自立活動「一人一人に必要な力を育む自立活動」 実践発表</p> <p>特別支援教育専門性向上研修講座 講師</p> | | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|-------------------|---|----|-----|---------|-------|--|--|
| 管内 | 檜山 | 学校名 | 北海道今金高等養護学校 | | | 校長名 | 飯出 広行 | | |
| 氏名 | 大槻 啓二 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 57歳 | 教職員経験年数 | 35年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 模擬株式会社の取組を通じた地学協働 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、農業担当教員として従事するとともに、学習指導、生徒指導をはじめ、職業学科を設置する高等部の学習の中心となる作業学習の指導において、農業科長として生徒が社会に出るために必要な力を付けさせるなど、日々研鑽し、生徒の成長に貢献してきた。</p> <p>特に、生徒の学習活動を充実させるため、体験的な教育活動として模擬株式会社委員会を設置し、会社組織の仕組みについての学習活動を地域と連携しながら進め、本校のPRはもとより、学校のみでは普段できない活動、お客様目線での製品生産などに取り組み、教職員の範となる実践に取り組んできた。</p> <p>この取組は、社会とのつながりの中で、発注先とのコミュニケーションが必要な「受注生産」を作業計画に位置付け、受注先の一つである今金町と連携して「ふるさと納税返礼品」に学科の製品や開発商品を提供するものであり、生徒の社会意識を高めることに寄与している。</p> | | | | | | | | |
| | 業績 | 平成30年度～令和2年度 | 今金町と連携し、「ふるさと納税返礼品」の取組を開始 生徒会活動に「模擬株式会社委員会」を設立し、生徒の活動の充実を目指す | | | | | | |
| | | 令和3年度 | 令和3年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞に寄与 檜山管内教育実践表彰 | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | | |
|-------------|---|--------------------------------------|-----------------------------|----|-----|---------|-------|--|--|
| 管内 | 上川 | 学校名 | 北海道鷹栖養護学校 | | | 校長名 | 櫻田 拓也 | | |
| 氏名 | 池田 文宏 | 職名 | 教諭 | 年齢 | 44歳 | 教職員経験年数 | 20年 | | |
| 教育実践のタイトル | | 特別支援教育の充実に向けた支援 | | | | | | | |
| 教育活動 | <p>長年にわたり、特別支援教育コーディネーターとして、小・中学校等における特別支援教育の在り方や支援の方法、合理的配慮の観点からの助言を行い、管内の特別支援教育の推進に尽力している。</p> <p>特に、単なる指導・支援の技術や方法だけでなく、各地域の資源や学校の特色等に応じた具体的で実践的な助言を行うことにより、小・中学校等の教員が主体的に取組を実践できるようにしている。</p> <p>また、校内支援にも力を入れており、教頭と連携し役割分担しながら進めることにより、教員のニーズをふまえた助言を行うなど工夫して取り組んでいる。</p> <p>町教育委員会からの委嘱を受け、就学相談等における心理検査の実施と検査結果を踏まえた学びの場についての助言や、自らの教育相談における助言の技術を高めるため、専門的な研修を受講するとともに、他の特別支援教育コーディネーターを対象として研修を実施するなど、その実践は高く評価されている。</p> | | | | | | | | |
| | 業績 | 平成24年度・27年度～29年度 | 東川町教育支援委員会委員 | | | | | | |
| | | 平成25年度 | 「平成25年度経験者（特別支援学校）研究協議会」 講師 | | | | | | |
| 平成27年度・28年度 | | 北海道教育委員会特別支援教育総合推進事業「上川管内専門家チーム」委員 | | | | | | | |
| 平成30年度 | | 「平成30年度初任段階教員研修（4年次研修）」 講師 | | | | | | | |
| 令和元年度 | | 「第14回特別支援教育学会研究大会道北支部企画シンポジウム」の話題提供者 | | | | | | | |
| | 令和2年度～4年度 | 鷹栖町特別支援教育連絡協議会委員、教育支援委員会委員 | | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在

令和4年度北海道教育実践被表彰者の概要（教職員表彰）

| | | | | | | | | |
|-----------|---|---------------------------|-------------|----|-----|---------|-------|--|
| 管内 | 釧路 | 学校名 | 北海道釧路鶴野支援学校 | | | 校長名 | 北嶋 公博 | |
| 氏名 | かな 金谷 しほり | 職名 | 教諭 | 年齢 | 37歳 | 教職員経験年数 | 11年 | |
| 教育実践のタイトル | | 特別支援教育における音楽科教育などの指導充実の取組 | | | | | | |
| 教育活動 | <p>知的障がい特別支援学校教諭として、長年音楽科の研究や指導に携わってきた。</p> <p>特に歌唱指導においては、生徒たち自身で工夫しながら歌唱に取り組むことができるよう指導するなど、創意工夫ある授業を展開しており、生徒の自己有用感を高めることや、好ましい学年集団づくりに大きな成果を上げている。</p> <p>また、学年主任としてきめ細かな学年経営を行うとともに、特に初任段階教員への指導により学校経営に大きく貢献しており、初任段階教員研修講師としても、釧路・根室管内の若手教員への教科等指導力などの定着に寄与している。</p> <p>令和3年度より特別支援教育コーディネーターとして、地域の支援体制構築において重要な役割を担っており、関係機関等と協力して問題解決に向かう取組を通じて、目指す学校像の具現化に努めている。</p> | | | | | | | |
| 業績 | 令和3年度～ | 特別支援教育コーディネーター | | | | | | |
| | 令和4年度 | 釧路管内初任段階教員研修 講師 | | | | | | |
| | | 根室管内初任段階教員研修 講師 | | | | | | |

※ 年齢は令和4年（2022年）4月1日現在